

標準特記事項（天井改修工事）

工事内容

体育館の天井改修（アリーナ部分に限る）を行う。

- ・既設天井撤去
- ・天井裏塗装改修ほか

以下の■を適用する。

1. 一般事項

- 工事着手前に現場調査及び実測を行い、その結果、設計図書によることが困難、または、不都合なことが判明した場合は、監督職員と協議を行うこと。
- 本工事に必要な官公署その他の手続きは速やかに行うこと。
- 工事に伴う撤去材は、速やかに場外処分とすること。（法令に基づく適正な処分、マニフェスト等の提出）
- 安全対策については、現場の状況に応じて適切な方法を講じること。
- 本工事は施設を運営しながら行う工事のため、利用者には細心の注意を払って工事を行うこと。
- 工事に伴い騒音・振動が発生する作業は時間的制約があるため、施設管理者と十分協議の上施工すること。
- 工事に伴い使用した進入経路及び資材置場等は、整地を行い現状に復旧すること。
- 本工事により破損を生じた箇所は、在来に倣い補修すること。
- 設備工事の取り扱いについては、設備監督職員と協議を行うこと。
- 施工者は、腕章、ヘルメット、名札等を着用し、工事施工者であることを明確にすること。
- 生徒の登下校の時間帯は、工事車両の進入に注意すること。
- 本工事敷地及び周辺道路は禁煙とする。
- 既設との取合部分は全てカッター切を行うこと。
- 工程表を作成し、施設管理者及び監督職員と協議のうえ施工を行うこと。

2. 仮設

I. 共通仮設

- ・工事用進入口
 - 警備員常駐1名（他工事と重複する場合は1名とする。）
 - ・工事用資材置場
 - ガードフェンス（H=1,800）
- ※ 位置については、図面番号 069 参照

- ・校庭内車両通行路（仮設及び資材、撤去材等の搬出入時）

- A型バリケード（ロープ付）延約100mにて仮囲い

- 場内警備員（スポット10名）

II. 直接仮設

- ・内部足場

- 枠組棚足場（在来 手すり先行なし）

- 枠組棚足場（手すり据置型、手すり先行専用型）

- 支柱式システム足場（手すり先行方式）

- ホリー株式会社 アイキューシステム

- アルインコ株式会社 トリプルエース

- アサヒ産業株式会社 ミレニューム

- 同等品

- ・養生

- 床養生

- 既存床仕上げのうえにシート+合板 t=9（継目養生テープ張）

- ステージ側壁養生

- 全面ビニルシート t=0.15（継目養生テープ張）

- ステージ側以外三面壁養生

- 既設天井取合部より、棚足場作業床面までをビニルシート t=0.15 養生（継目養生テープ張）

- 備品等

- ステージ面以外のカーテン等はすべて取り外しのうえ養生保管し工事完了後に復旧すること。

- 天井に設置されている仕切りネット等は、ワイヤーを一時取り外しのうえ養生保管し工事完了後に復旧すること。

- ピアノ等の大型備品については、移動は最小限とし、ビニルシート t=0.15 で厳重に養生すること。

III. 調査・点検等

- ・以下の調査を行い、報告書を作成し、監督職員に報告すること。

- 天井裏落下物調査

- 既設天井裏で落下の恐れのあるものを調査し、天井伏図に位置を記載し写真とあわせて報告すること。

- 溶接部目視点検・調査（構造鉄骨部材）

- 構造鉄骨部材の溶接部については、目視により点検・調査し、悪所（割れ等）がある場合は、天井伏図に位置を記載し写真とあわせて報告すること。

■バスケットゴール接合部点検（天井吊タイプ）

天井吊のバスケットゴールについては、設置メーカーにより接合部の点検及びボルトに緩みがある場合は増し締め等の処置を行い、その結果について写真を添えて報告すること。なお、報告様式は各メーカーの任意とする。

IV. 工事期間

■工事期間は特記仕様書による。

3. 撤去

■撤去方法

天井撤去にあたっては、手ばらしを原則とし、既存へ損傷を与えないよう慎重に行うこと。

既設天井（化粧石膏ボード t=9.5）及び天井下地（軽量鉄骨下地、鉄骨天井下地組）を手ばらしにより撤去すること。

■撤去材料

□アスベスト含有成形板（天井仕上材料）

※撤去にあたっては、特記仕様書による。

■ノンアスベスト含有成形板（天井仕上材料）

4. 改修

■天井撤去後に見え掛りとなる鉄部は全て SOP 塗装を行う。

■天井撤去後に見え掛りとなる屋根下地は全て EP 塗装を行う。

■壁及び天井撤去後に見え掛りとなるコンクリート・モルタル面は全て EP 塗装を行う。

■壁・天井取り合い部等には全て見切縁（杉 60×60 程度 SOP 塗を既存躯体にアンカー留）を見栄え良く設置し、壁小口を閉塞すること。

■各塗装色については、監督職員と協議のうえ決定すること。

■天井撤去後に見え掛りとなる舞台側垂壁の天井面から上部については、原則 LGS 壁下地を追加および補正のうえに石膏ボード t=9.5（突付工法）張のうえ EP 塗装とする。（鉄骨造体育館の場合に適用）